

二月十四日
小倉部落

NHKガイドに

小倉部落のテレビ難視聴
の状態が、来る二月十四日
午後六時四十五分からNH
Kのテレビガイドで紹介さ
れます。



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行



五城目町公民館では、去る1月26日から30日まで、町内幼稚園、保育所(園)を対象に、広域体育館において親子体力づくりの集いをおこなった。五城目地区以外はすべて福祉バスの送迎である。指導には町内体育指導員の外、県立体育館の教員も講師に仰ぎ、子ども達とその父兄は広い体育館の中で心おきなく運動を展開した。

各地区を組合せるので、子ども達は始めよそよそしい、しかしいろいろなゲームが進行するにつれてもう遠慮はない。所せましと走り廻る。親と手を取り走りまわる機会は年に何度もないので、子ども達は本当に楽しそうであった。

一方父兄の参加も色とりどりだ。母親は勿論、父親、おじちゃん、おばあちゃん、夫婦共々の参加もあった。仕事をはなれてわが子と共に汗を流す顔は誠に健康な笑顔に輝いていた。

手を取り合い楽しむ

親子体力づくり

子どもの将来のため体力づくりを

近ごろ子どもの体力の低下は大きな社会問題となっている。その原因としてはいろいろあげられるが、余裕のないつめこみ主義教育や、生活環境の悪さなど指摘されている。体力は一朝一夕に蓄積されるものではない。小さな時からたとえわずかな時間でも、子ども達は健康な心身づくりに精を出させるのは、勉学以上に子どもの将来にとってプラスになるであろう。

いくら勉学がよくても健康がむしばまれては結果的にゼロに等しくなってしまうからである。この種の企画は、子ども達の健康を増進する事は勿論、広域体育館の本来的な意義を深めそして高めるもので、その趣向に計画性を持たせながら、この町の幼児体力づくりの特徴を引き立ててほしいものだ。なお午後からは、体力づくりは食生活からの影響も大きいとして、市民センターで料理講習の実習でしめくくった。

五連青ミニ二十史 史

富津内青年会V-Bチーム

初めての全国大会

初年度は、こととはかなり違った思惑がからみ、役員人事に時をかけすぎたため、事業らしい事業もなくパキスタンへ農業技術指導に派遣された、富津内青年会伊藤嘉津雄氏の「パキスタンの現状」と題する講演会が唯一のものであった。

昭和三十二年度においても役員人事の調整にスムーズさを欠き、結局伊藤富司氏に引き続ぎ会長を担当するが、この頃から五連青の活動がようやく始動しはじめ、体育、文化祭を事業の柱として、学習活動がその大部分を占めた。

昭和三十年代は、町内中学校の女子バレーボールが、郡内他町村の追随を許さぬ強力なチームの粒揃いで全盛期を経て、各単位はバレーボールの試合にしのぎを削り合った。

昭和三十三年度(会長齊藤明)には富津内青年会チームが百堂全敗を予想されていた由利チームが、當時の選手達を包んでいた。全国大会では、広島専売チームにワニサイドに敗れたが、このチームの活やがれを進められたが、そのチームの活やがれが非常に刺激となり、活を入れた功績は大きい。

昭和三十四年度(会長大石幹夫)は五連青会の体育文化の上に非常に刺された。この年八月には、全日本高校レスリング大会に出店した三笠宮殿下歓迎懇親大会が開催された。この大会には、全員数約千名を擁し会活動も多彩なものとなっていた。大会では、広島専売チームにワニサイドの勝敗が決まり、このチームの活やがれが非常に刺激となり、活を入れた功績は大きい。

昭和三十五年度(会長大石幹夫)は五連青会が第一回全県青年研究集会が五一小中でおこなわれたが、そのために会場準備、接待などは大活躍をしている。そのあと一月には第四回全県青年研究集会が五一中でおこなわれたが、そのために会場準備、接待などは大活躍をしている。

そのために会場準備、接待などは大活躍をしている。そのあと一月には第四回全県青年研究集会が五一中でおこなわれたが、そのために会場準備、接待などは大活躍をしている。

住民税・所得税申告相談日程表

月 日	地区名	該当町内部落名	申告会場名
2、10火	五城目	広ヶ野・希望ヶ丘・山田、今町 御嶽町、一色町、川原町	役場第3会議室
12木	〃	新町、一番町、古川町 新畠町、紀久栄町	〃
13金	〃	長町、仲町、米沢町、榮町 矢場崎	〃
14土	〃	畠町、昭辰町、雀館、中川原 鶴町、口、岩城町	〃
16月	〃	上越口(上、下)	〃
17火	〃	高崎(上、中、下)、鰐越、久保	〃
18水	面潟	岡本	森山公民館
19木	〃	野田、浦崎町	〃
20金	内川	浅見内(1区~6区) 湯又(1区~4区)	浅見内児童館
23月	〃	小川口、小倉	農協内川支所
24火	富津内	北々口、高千、落合、脇乙	落合公民館
25水	〃	黒土、富田、八田、台御坂下	農協富津内支所
26木	〃	下山内、上山内	〃
27金	馬場目	恋地、坊井地、杉沢、合地	杉沢公民館
28土	〃	水沢、平ノ下、中村	農協馬場目支所
3、1月	〃	寺庭、小野台、蓬内台、門前	〃
2火	〃	帝釈寺、町村	〃
3水	大川	大川1区、2区、3区	大川出張所
4木	〃	大川4区、石崎、谷地中	〃
5金	〃	下越口、西野	〃
6土	全町	全町未申告者	役場第3会議室
8月	〃	〃	〃
9火	〃	〃	〃
10水	〃	〃	〃

住民税の申告相談について

町では昭和五十一年度分住民税の申告相談を次の日程により実施します。

◎申告しなければならない人

④国民健康保険に加入している人

◎申告しなくてもよい人

◎申告しなかつた場合

◎印かん

◎その他申告に参考となる資料

◎印かん

1976・2・1

言のせられて、後になって「しまった」ということのないようにしていただきたいということです。

税理士は、納税者の依頼による相談などを業としていますが、税理士法という法律によって一定の資格や要件が必要とされており、また、納税者の信用を守るとともに、納税義務を高める努力をする責任を負っています。ところが確定申告期になると、税務書類の作成などを依頼する人が多いことに便乗して、税理士業を行う資格のない人が、申告書の作成などの仕事をすることがあります。

このようないにせ税理士は法律に違反するばかりでなく、納税者に迷惑をかけることが多いので國税庁、國税局、税務署では、にせ税理士に対して厳しい態度でのぞみ、これを取締っています。

税金のことについて依頼されるときは、正規の税理士であるかどうか、税務署や税理士会にお尋ねになればすぐわかることです。すから注意してください。

昭和五十年度 全町室内球技大会

編成は、地区又は町内部落単位を原則とする。

但し、困難な場合は地区内同好者又は隣接町内部落と組んでもよい。

公 告

四、障害者控除
障害者(一人につき)二〇万円はただし、特別障害者については二八万円

五、老年者、寡婦、勤労学生控除

老年者とは、年齢六十五歳以上

で合計所得金額が一千万円以下

の人をいう。

六、社会保険料控除

支払保険料の全額

七、小規模企業共済等掛金控除

支払掛金の全額

八、生命保険料控除

支払保険料が、二万五千円以下

の場合

②支払保険料が、二万五千円を超えて

え五万円以下の場合

支払保険料× $\frac{1}{2}$ 一万二千五百円

〇円以下の場合

支払保険料× $\frac{1}{2}$ 一万二千五百円

③支払保険料が、五万円を超えて

(最高)一万五千円

④支払保険料が、五万円を超えて

(最高)一万五千円

⑤支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑥支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑦支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑧支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑨支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑩支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑪支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑫支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑬支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑭支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑮支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑯支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑰支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑱支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑲支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

⑳支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉑支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉒支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉓支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉔支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉕支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉖支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉗支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉘支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉙支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉚支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉛支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉜支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉝支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉞支払保険料が、五万円を超えて

(最高)三万円

㉟支払保険料が、五万円を超えて



若い大工さん達善意の奉仕

浅見内に住む4人の若い大工さん達は、去る1月7日内川保育所の修繕に材料を持ち込んで善意の奉仕をしました。

この4人は、同じ部落で同じ職業であることから、1日会を作りお互いの研さんとの場としている。このたびの奉仕も会活動の一環としておこなわれたもので、ガラス、戸車鍵、便器等、バケット(バックボーラード)など、修繕材料一切を持込み、あとは日頃の手並みを発揮して勿忙の修繕であった。

内川保育所は旧内川役場跡で、すでに20余年を経過しており、総身創りの古い建物。工藤清美さん、工藤秋男さん、工藤次雄さん、松崎正勝さん本当にありがとうございます。

みなさんの温い善意で、保育所の園児達は楽しい毎日がおくられることでしょう。



富田 原田 和治 文子
11、26

上穂口 猪田 富雄
昭子 長男

下高崎 篠原恒美
義一 テル子 二男

五十一年一月

五十年十二月

四日 大石 シヤ

五日 武田 佐助

二日 山田 力藏

二日 白川 正治

二日 小玉 老子

二日 広ヶ野 滉

二日 鴻臚町 昭辰郎

二日 鳥居町 昭辰郎